

かしょう みずはしちくぎむきょういくがっこうせいびじぎょう けんせつ
(仮称) 水橋地区義務教育学校整備事業 建設だより

こうじ がいよう
工事の概要

- 【工事場所】 富山市水橋中村24番他31筆（旧富山県立水橋高校 跡地）
- 【敷地面積】 55,875.95m²（TOKYOドーム46,755m²に対して約1.2倍の大きさ）
- 【建築面積】 9,691.31m² 【延べ面積】 19,603.00m²（3階建て）
- 【主な構造】 鉄筋コンクリート造（校舎棟）・一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造（体育館棟）
- 【新築部工事期間】 令和6年4月15日～令和8年1月31日 学校開校日 令和8年4月1日

- ***建築面積とは?? 建物を真上から見たときの面積です。
- ***延べ面積とは?? 建物各階の床面積の合計です。
- ***鉄筋コンクリート造とは?? 太さ1cm以上の鉄筋とコンクリートを組み合わせた構造
遮音性、耐震性、耐火性に優れているという特徴があります。
- ***鉄骨造とは?? 柱や梁に鋼鉄を使用し、厚さ6mm以上の鉄骨を用いた構造。
工場で生産された鉄骨を使用するため、一つひとつの部材の品質が安定しています。

こうじ しんちやくじょうきょう
工事の進捗状況

新築工事着工前の起工式から約2ヶ月が経過しました。現在の進捗は、校舎棟は基礎工事の杭打ちを行っています。校舎棟が完了したら体育館棟へと進みます。杭打ち完了した場所から順次、基礎工事の掘削(穴掘)を行い鉄筋・型枠工事へと進みます。基礎コンクリート打設(1回目)は、7月上旬の予定です。



- ← 令和6年4月19日(金)起工式
起工式とは?? 建設工事が始まる際に行われる式典です。
工事の安全や円滑な進行を祈願する大切な儀式です。
工事の開始を宣言し、関係者が一堂に会して安全祈願を行います。



- ← 令和6年5月23日撮影 杭打ち作業
杭打ち作業とは?? 構造物を安全に支える目的で行われます。
地盤がやわらかい場合、通常よりも強固な土台がないと、災害で建物が倒壊する恐れがあります。そのため杭打ち工事を行い、建物基礎を強くする必要があります。
水橋学園の場合、地下31.0mに強固な地盤があります。その地盤に杭を支持する事により、地上部分の建物沈下、転倒防止を行っています。
杭打ち作業とは、水橋学園の縁の下力持ち的な非常に大事な工事です。



- ← 令和年6月4日撮影 基礎鉄筋組立作業
基礎鉄筋組立作業とは?? 杭と建物をつなげる基礎の図面にあわせて鉄筋を組立てる作業(骨組)をいいます。
建物が完成したあとからは、鉄筋は見えませんが建物の寿命を左右する重要な工事です。

***次号では、型枠・コンクリート工事を説明します。

フェイスブック <https://www.facebook.com/7pride.mizuhashi> を開設しています。是非御覧下さい。

発行 〒930-0858 富山市牛島町24番6号
 セブンプライド株式会社 担当者：野上 俊光
 電話 076-431-8005 FAX 076-442-7610

